

(別添1)

No.	08
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和7年6月

水田農業高収益化推進計画

茨城県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

国全体の主食用米の需要が毎年10万tずつ減少する中、本県では、主食用米の需給バランスを確保するため、これまで飼料用米を中心に主食用米からの転換を図ってきたところである。一方、水田農業の収益力強化を図り、本県が目指す儲かる農業を実現するためには、水田への高収益作物の導入が有効だが、排水不良の水田が多いことに加え、地域によって生産環境も異なることなどから、導入されている地域、品目ともに限定的であり、令和元年度における水田面積(田本地面積)94,300haのうち、高収益作物の作付面積は約3,555ha(3.77%)となっている。

このような中、水田への高収益作物の導入・拡大を図っていくため、県・市町村の関係部局が連携し、地域の実情に合わせた生産技術・機械等の導入や生産基盤の整備を行っていく。

具体的な品目としては、トマト、たまねぎ、キャベツ、ねぎなど中食・外食において需要が拡大している品目やれんこん、かんしょ等、本県の全国シェアが高く、水稻から転換することにより所得の向上が期待できる品目を中心に、地域の特性や実情に応じて導入を図る。

また、子実用とうもろこしは畜産物生産に重要な濃厚飼料の1つであるが、ほとんどを輸入に頼っているが、昨今の輸入飼料価格の上昇を踏まえ、国産飼料へ転換することで、畜産農家のコスト低減と生産される畜産物の安心・安全につなげることができる。加えて、労働生産性が高く、輪作体系に導入することで次期作物の生産性向上にも寄与することから、その導入及び拡大を図る。

さらに、県南地区(主につくば市)で伝統的に生産されている芝について、園芸用途を中心に安定した需要があり、かつ比較的生産面積を拡大できる作物として、地域の農地の有効活用に寄与していることから、転換が可能な水田での導入を進めることで、地域の農地のさらなる有効活用及び経営所得の向上を図る。

2. 目標

(1) 推進方針

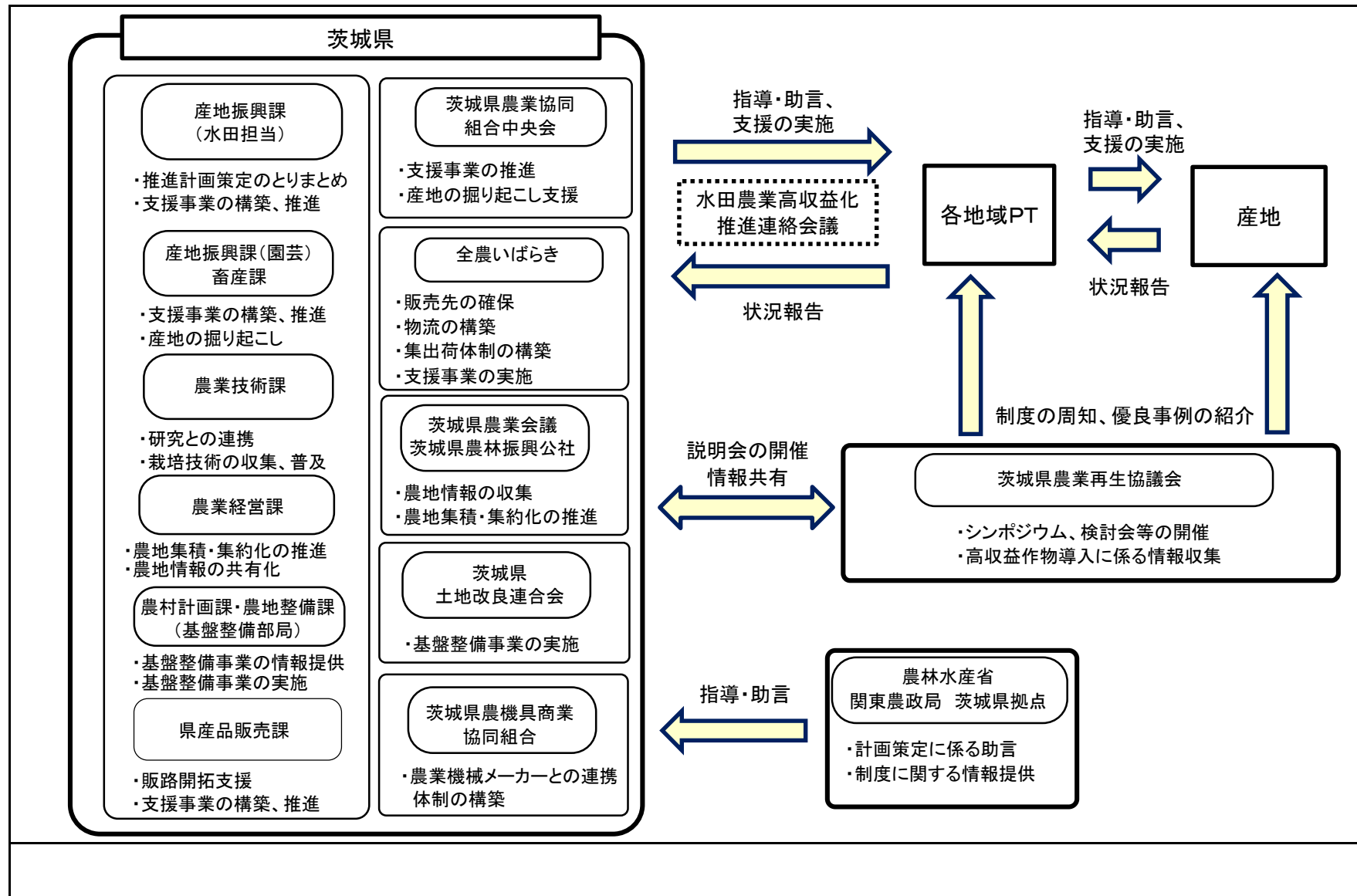
県・市町村の関係部局が連携し、機械等の導入や生産基盤の整備、生産技術の指導を行うことで、令和7年度までに、水田へ高収益作物等を導入・拡大する産地を10産地創出するとともに、高収益作物の作付面積や畑地化の取組を令和元年度比で300ha以上（畑地化の取組250haを含む）拡大し、産出額で15億円の増加を目指す。（なお、令和6年度において、4つの産地計画が終了した。令和6年度時点において、令和元年度比で、子実用とうもろこし作付面積は35ha増加、高収益作物作付面積は129ha増加、県全体における畑地化支援の取組面積は1,968ha増加、産出額は10.8億円増加した。）

(2) 推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		枝肉価格単価	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	県内の多くの畜産農家が、飼料のほとんどを輸入に頼っており、輸入飼料価格が上昇する中、畜産農家の経営安定につながるのと同時に、生産される畜産物の安心・安全につながる国産飼料の需要の見込みがあるため。また、労働生産性が高く、輪作体系に導入することで次期作物の生産性向上にも寄与するため。	0.54 <36.75> ha	45.30 ha	660 <476> kg / 10 a	715 <10 a> kg / 10 a	0.14 <7.6> 百万円	12.2 <12.2> 百万円	44,336 <64,824> 円 / 頭	80,000 <80,000> 円 / 頭
ミニトマト	生食用	施設	県内各地（鉢田市、つくば市等）の産地において販売実績があり、安定的に需要がある品目であるため。また、高機能な環境制御温室において、高品質・高単価商品を安定生産することにより、さらなる収益性の向上が見込まれるため。	0 <5.04> ha	5.04 ha	0 <2,771> kg / 10 a	15,251 <15,251> kg / 10 a	0 <188.9> 百万円	1,251 <1,251> 百万円	-	-
れんこん	生食用	露地	全国での本県のシェアが高く、単価や産出額が安定している品目であるため。また、排水性の悪い湿田での栽培に適しており、県内における栽培事例も多く、全国に販売先が確保されており、面積あたりの収益性が高い品目であるため。	48.82 <1098.83> ha	1,149 ha	1,622 <1,820> kg / 10 a	1,926 <1,926> kg / 10 a	339 <8,168> 百万円	9,623 <9,623> 百万円	-	-
ねぎ	生食用	露地	全国での本県のシェアが高く、単価や産出額が安定している品目であるため。従来の産地の取組み支援に加えて、野菜類の中では機械化体系が進んでいる品目であることから、普通作経営体の複合経営化に向けた導入品目としても取組む。	2.5 <13.9> ha	19.0 ha	2,000 <3,700> kg / 10 a	4,000 <4,000> kg / 10 a	11.2 <87.9> 百万円	210 <210> 百万円	-	-
レタス	生食用	露地	全国での本県のシェアが高く、単価や産出額が安定している品目であるため。県の研究所において試験が実施され、栽培に関する知見が多く得られていることから、特に、県西地区での作付けを推進する。	4.5 <10.1> ha	5.0 ha	2,600 <2,600> kg / 10 a	2,800 <2,800> kg / 10 a	20 <44.9> 百万円	24 <24> 百万円	-	-
メロン	生食用	露地	全国での本県のシェアが高く、単価や産出額が安定している品目であるため。県の研究所において試験が実施され、栽培に関する知見が多く得られていることから、特に、県央、鹿行地区での作付けを推進する。	0.8 ha	1.2 ha	2,240 <2,240> kg / 10 a	2,600 <2,600> kg / 10 a	29.5 <29.5> 百万円	51.4 <51.4> 百万円	-	-
食用とうもろこし	生食用	露地	全国での本県のシェアが高く、単価や産出額が安定している品目であるため。産地の取組み支援を継続し、作付けを推進する。	1.2 ha	3.0 ha	1,350 <1,350> kg / 10 a	1,600 <1,600> kg / 10 a	5.9 <5.9> 百万円	17.5 <17.5> 百万円	-	-
芝	園芸用	露地	全国で本県がトップのシェアを占めており、県南地区において重要な品目となっている。安定した需要があることから、田における安定生産に取組むことで、主要産地としての供給責任を果たしていく。	189 <189> ha	190.0 ha	90 <90> 束 / 10 a	100 <100> 束 / 10 a	567 <680> 百万円	570 <570> 百万円	-	-

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。
※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）
※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

高収益作物導入に関する機運を高め、作付面積の拡大を図るため、支援制度の紹介や取組の推進に係るチラシを作成するとともに、市町村やJA、農業者向けの説明会を開催する。また、JA部会や普通作複合経営を行う農業法人・集落営農組織に加え、水田の汎用化実施済地区の農業者に対して、水田農業高収益化に係る国・県の施策の周知や、意向調査を実施し、水田に園芸作物を導入・拡大する産地を掘り起こしていく。更に、導入が有望と考えられる地区を把握するため、水はけの良い水田及び陸田における作付状況を調査する。また、収量および販売額向上のため、適切な病害虫防除や優良品種(系統)の導入、土づくりについて普及部門と連携して技術指導をおこなっていく。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
子実用とうもろこし	栽培技術や輪作体系への導入効果等を周知し、実証ほの設置や現地検討会等を開催し、地域普及を図る。 麦や大豆が長年作付けされており、収量が低下傾向にある圃場への作付けを推進する。	堆肥による土づくりと、発生消長に合わせた適期の薬剤散布により、アワノメイガ等の害虫を効率的に防除する。	作付面積の拡大及び収量の向上と、害虫の適切な防除で品質を向上することにより、販売額の向上を図る。	国産飼料である、「子実用とうもろこし」の生産拡大を図り、自給飼料とすることで、安心・安全といった付加価値を高め、商品(豚肉)のより一層のブランド化及び販売単価の向上を目指す。
ミニトマト	令和6年度までに作付面積の目標は達成したため、適切な管理を励行し、作付面積を維持する。	高機能環境制御温室を用いた周年栽培システムにより、環境変化に左右されず高品質なミニトマトの安定生産を実現する。また、アザミウマ等に対する適切な防除対策(粘着トラップの設置、薬剤散布等)と、青枯病、トマトモザイク病の防除対策として土壌消毒や適切な管理を実施することで、収量を向上する。	高品質な商品を周年安定供給するとともに、取引先と連携した販売促進活動を実施する。これらを通じて販売先の確保及び高単価販売を実現し、販売額の向上を目指す。	
れんこん	現地導入事例について経営調査を実施し、収益性向上の面から面積の拡大や新規導入を推進する。また、地域の状況に応じて補助事業を活用した基盤整備や機械整備を行うことで作業効率等を向上し、作付面積の拡大を図る。	病害虫防除により健全な生育を促すとともに、有機物の適正施用による土づくりを行うことで土壌の化学性や物理性を改良し、レンコン転換後の生育を促進するとともに、水鳥による食害を予防することで、収量の向上を図る。	病害虫防除及び土壌改良資材の適正施用による土づくりにより土壌の化学性を改善して生育を促進するとともに、物理性を向上して規格外品の発生割合を低下させる。これらにより可販収量を増加させ、販売額の向上を目指す。併せて、単価向上に向けて、消費地での販売促進活動に取り組む。	
ねぎ	機械化による普通作経営体への導入を促進するとともに、連作障害回避の取組を進め、面積の拡大を図っていく。	転換畑での地下水位の関係による栽培方法の見直しや、防除体系について県内試験研究機関とともに知見を収集し、生産者への技術指導を行うことで、収量の向上を図っていく。	生産時期の調整により、単価が高い時期に販売できる作型を推進するとともに、連作障害回避の取組を進めながら作付面積を拡大させ、販売額の維持・向上を図る。	
レタス	現地導入事例について経営調査を実施するとともに、これまでの試験研究結果を基にほ場の排水性の改善を進めることで、生産者の拡大と、ほ場の拡大の両面から取組を進めていく。	転換畑に適した品種の選定や、排水性の向上による湿害対策、軟腐病をはじめとする病害への対策について検討するとともに、普及機関と共に生産者の指導を進めることで、収量の向上を図る。	他地域との差別化により、単価の維持・向上を図るため、品種や販売方法の見直しを進める。	
メロン	現地導入事例について経営調査を実施し、収益性向上の面から横展開を図ることで、面積の拡大や新規導入を推進する。	堆肥・緑肥を使用した土づくり、明渠を用いて排水性を改善することにより、収量の向上を図る。	作付面積の拡大及び収量の向上により、販売額の向上を図る。	
食用とうもろこし	現地導入事例について経営調査を実施し、収益性向上の面から横展開を図ることで、面積の拡大や新規導入を推進する。	土壌診断による施肥設計による土づくり、堆肥による土づくり、防護ネット・電気柵使用で鳥獣害対策することにより、収量の向上を図る。	作付面積の拡大及び収量の向上により、販売額の向上を図る。	
芝	芝に適した陸田の探索を地域で協力して進めるとともに、現地導入事例について経営調査を実施し、既存経営体の規模拡大等による作付面積の拡大を支援していく。	転換畑に適した品種の選定や、ほ場の排水性の改善を行うことで、収量の向上を図る。	品質管理の徹底と販路拡大に取り組むことで、販売額全体の維持、向上を図る。	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	<u>境町子実用とうもろこし生産者団体</u>	境町	<u>R6年度で終了、新規</u>
2	株式会社オスミック	稲敷市	R6年度で終了年だったが、 目標未達のため、 当初計画のまま継続
3	稲敷市東地区れんこん生産者団体	稲敷市	<u>R6年度で終了</u>
4	稲敷市桜川地区れんこん生産者団体	稲敷市	
5	筑西市子実用とうもろこし生産者団体	筑西市	
6	河内町れんこん生産者団体	河内町	
7	土浦市	土浦市	<u>生産者変更</u>
8	かすみがうら市	かすみがうら市	
9	つくば市(上郷地区)	つくば市	生産者死亡により、 <u>R6年度で終了</u>
10	つくば市(桜地区)	つくば市	
11	つくば市	つくば市	
12	つくば市(筑波地区)	つくば市	
13	坂東市	坂東市	<u>生産者変更</u>
14	<u>茨城町</u>	<u>茨城町</u>	新規
15	<u>鹿嶋市</u>	<u>鹿嶋市</u>	新規

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	08-001
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和7年5月

水田農業高収益化推進計画
境町子実用とうもろこし生産者団体 産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	境町子実用とうもろこし生産者団体
構成機関・団体名及び役割分担	茨城県西農林事務所 企画調整部門・畜産振興課 境町役場農業政策課 境町農業再生協議会 ・計画作成支援 ・栽培技術指導 ・計画作成支援 ・支援事業の情報提供、実施 ・水田活用の直接支払交 付金等の関係事務・推進 【実需者1】 (株)塚原ファーム (自家利用・生産者から購) 境町子実用とうもろこし 生産者団体 【実需者2】 (有)勝地屋商店 (仲介業者) (有)イバシン物流 (飼料販売業者) 【実需者4】 (有)産直パーク山庄 (養豚) 境町子実用とうもろこし 生産者団体 【実需者3】 昭和産業(株) (飼料販売業者)

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		枝肉価格単価	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	境町	15.85 ha (令和6年)	31.5 ha (令和11年)	611 kg/10a (令和6年)	766 kg/10a (令和11年)	3,527 千円 (令和6年)	8,880 千円 (令和11年)	64,824 円/頭 (令和6年)	80,000 円/頭 (令和11年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-002
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和7年6月

水田農業高収益化推進計画
株式会社オスミック 産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	株式会社オスミック
構成機関・団体名及び役割分担	茨城県県南農林事務所 (企画調整部門・稲敷地域農業改良普及センター) 稲敷市(農政課) 稲敷市地域農業再生協議会 稲敷市(プロジェクトチーム) ・計画策定支援 ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業の情報提供、実施 ・水田活用の直接支払交付金等の普及推進・関係事務 ・まちづくり計画の全体的な推進 農家((株)Kアグリ稲敷/茨城、(株)Kファーム稲敷) 生産・販売

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ミニトマト	生食用	施設	株式会社オスミック	0 ha (令和元年)	5.04 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和元年)	15,251 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和元年)	1,250,803,052 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-004
策定年月	令和3年6月
見直し年月	令和5年6月

水田農業高収益化推進計画
稲敷市桜川地区れんこん生産者団体産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	稲敷市桜川地区れんこん生産者団体
構成機関・団体名及び役割分担	茨城県県南農林事務所 (企画調整部門・稲敷地域農業改良普及センター) 稲敷市(農政課) 稲敷市地域農業再生協議会 稲敷農業協同組合 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・支援事業の情報提供、実施 ・水田活用の直接支払交付金等の普及・推進 ・販売先の確保 ・営農指導の実施 (A)農家(古渡地区) 生産・販売 (B)農家(浮島地区) 出荷先 ・稲敷農業協同組合 ・あずま総合青果(株) 出荷先 ・稲敷農業協同組合 ・(株)ヤマシン商事

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
れんこん (A)	生食用	露地	稲敷市古渡地区	15.97 ha (令和2年)	17.37 ha (令和7年)	1,680 kg/10a (令和2年)	1,727 kg/10a (令和7年)	104,904,000 円 (令和2年)	117,292,141 円 (令和7年)		
れんこん (B)	生食用	露地	稲敷市浮島地区	117.36 ha (令和2年)	122.16 ha (令和7年)	1,580 kg/10a (令和2年)	1,727 kg/10a (令和7年)	815,887,000 円 (令和2年)	928,269,408 円 (令和7年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08－005
策定年月	令和3年6月
見直し年月	令和6年6月

水田農業高収益化推進計画
筑西市子実用とうもろこし生産者団体産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	筑西市子実用とうもろこし生産者団体
構成機関・団体名及び役割分担	茨城県西農林事務所 企画調整部門・振興・環境室 筑西市役所 水田農業振興課 筑西市農業再生協議会 ・計画作成支援 ・栽培技術指導 ・支援事業の情報提供、実施 ・計画作成（支援） ・支援事業の情報提供、実施 ・水田活用の直接支払交付金等の関係事務・推進 【生産者団体】 筑西市子実用とうもろこし生産者団体 ↓（販売） 【実需者】 JAやさと平飼部会（石岡市） 松崎養鶏舎（下妻市） （株）ジャパン・アグリビジネス（筑西市）等

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	筑西市	1.4 ha （令和2年）	13.8 ha （令和7年）	480 kg/10a （令和2年）	600 kg/10a （令和7年）	268,800 円 （令和2年）	3,312,000 円 （令和7年）		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-006
策定年月	令和4年6月
見直し年月	令和5年6月

水田農業高収益化推進計画
河内町れんこん生産者団体産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	河内町れんこん生産者団体
構成機関・団体名及び役割分担	茨城県県南農林事務所 (企画調整部門・稲敷地域農業改良普及センター) 河内町(農政課) 河内町農業再生協議会 稲敷農業協同組合 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・支援事業の情報提供、実施 ・水田活用の直接支払交付金等の普及・推進 ・販売先の確保 ・営農指導の実施 (A)農家(和銅谷地区) ・生産・販売 (B)農家(下加納地区) ・生産・販売 出荷先 ・稲敷農業協同組合 出荷先 ・株式会社ヤマシン商事 ・長印船橋青果株式会社

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
(A)れんこん	生食用	露地	和銅谷地区	26.53 ha (令和3年)	26.79 ha (令和8年)	1,471 kg/10a (令和3年)	1,600 kg/10a (令和8年)	202,933,120 円 (令和3年)	222,893,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)
(B)れんこん	生食用	露地	下加納地区	33.42 ha (令和3年)	34.46 ha (令和8年)	1,600 kg/10a (令和3年)	1,800 kg/10a (令和8年)	242,762,880 円 (令和3年)	281,607,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-007
策定年月	令和4年6月
見直し年月	令和7年5月

水田農業高収益化推進計画
土浦市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	土浦市
構成機関・団体名及び役割分担	土浦市(農林水産課) ・支援事業の実施 土浦市地域農業再生協議会 ・水田活用の直接支払 交付金等の周知・推進 茨城県県南農林事務所 (企画調整部門・土浦地域農業改良普及センター) ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 水郷つくば農業協同組合 ・販売先の確保 ・営農指導の実施 生産 農 家 出荷先 ・水郷つくば農業協同組合 ・その他(系統外市場等) 出荷者団体 ・水郷つくば農業協同組合各支部 ・土浦市園芸組合連合会沖宿運根支部 など

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
れんこん	生食用	露地	土浦市	377.65 ha (令和3年)	520.00 ha (令和8年)	1,900 kg/10a (令和3年)	2,000 kg/10a (令和8年)	3,049,524千円 (令和3年)	4,472,000千円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)
				ha (令和〇年)	ha (令和〇年)	kg/10a (令和〇年)	kg/10a (令和〇年)	円 (令和〇年)	円 (令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-008
策定年月	令和4年6月
見直し年月	令和6年5月

水田農業高収益化推進計画
かすみがうら市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	かすみがうら市
構成機関・団体名及び役割分担	茨城県県南農林事務所 (企画調整部門・土浦地域農業改良普及センター) かすみがうら市 (農林水産課) かすみがうら市農業再生協議会 水郷つくば農業協同組合 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の情報 提供、実施 ・水田活用直接支払交付金等の 普及・推進 ・販売先の確保 ・営農指導の実施 生産・販売 ↓ ↑ 農家 ⇒ 出荷先 ・水郷つくば農業協同組合 ・その他

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
れんこん	生食用	露地	かすみがうら市	352.3 ha (令和3年)	363.0 ha (令和8年)	1,700 kg/10a (令和3年)	1,900 kg/10a (令和8年)	2,545,945,500 円 (令和3年)	2,931,225,000 円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-010
策定年月	令和5年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
つくば市（桜地区）産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	つくば市農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	つくば市（農業政策課） ・支援事業の情報提供、実施 つくば市農業再生協議会 ・水田活用の直接支払交付金等の周知・推進 つくば市農業協同組合 ・販売先の確保 ・営農指導の実施 茨城県県南農林事務所 （企画調整部門・つくば地域農業改良普及センター） ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 農家 販売先 ・つくば市農業協同組合 ・水郷つくば農業協同組合

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
れんこん	生食用	露地	桜地区	1.7 ha (令和4年)	3 ha (令和9年)	450 kg/10a (令和4年)	500 kg/10a (令和9年)	3,060,000 円 (令和4年)	6,000,000 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-011
策定年月	令和5年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
つくば市（芝）産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	つくば市農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	つくば市（農業政策課） つくば市農業再生協議会 茨城県県南農林事務所 (企画調整部門・つくば地域農業改良普及センター) つくば芝生事業協同組合 ・支援事業の情報提供、実施・水田活用の直接支払交付金等の周知・推進 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・資材等の共同購入 ・種芝の共同生産 ・販売先確保の支援 等 ↓ ↑ 農家 → 販売先 ・実需者（ゴルフ場、造園業等） ・つくば市農業協同組合 販売先

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
芝	園芸用	露地	つくば市	189 ha (令和4年)	190 ha (令和9年)	90 束/10a (令和4年)	100 束 /10a (令和9年)	567,000,000 円 (令和4年)	570,000,000 円 (令和9年)	(令和5年)	(令和9年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-012
策定年月	令和6年4月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
つくば市（筑波地区）産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	
構成機関・団体名及び役割分担	つくば市（農業政策課） つくば市農業再生協議会 茨城県県南農林事務所 （企画調整部門・つくば地域農業改良普及センター） ・支援事業の情報提供、実 ・水田活用の直接支払交付 金 等の周知・推進 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ↓ 農家 ↑ 販売先 水戸中央青果株式会社

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
れんこん	生食用	露地	筑波地区	4.1 ha （令和5年）	5.5 ha （令和10年）	1,800 kg/10a （令和5年）	2,000 kg/10a （令和10年）	29,520,000 円 （令和5年）	44,000,000 円 （令和10年）	（令和5年）	（令和10年）

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-013
策定年月	令和6年5月
見直し年月	令和7年5月

水田農業高収益化推進計画
坂東市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	坂東市
構成機関・団体名及び役割分担	坂東市(農業政策) 坂東市農業再生協議 茨城県西農林事務所 企画調整部 岩井農業協同組合 ・支援事業の情報提供、実施 ・水田活用の直接支払交付金等の周知・推進 ・計画作成の取りまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・販売先の確保 ・営農指導の実施 ↑ ↓ 農 家 ⇨ 出荷先 ・岩井農業協同組合 ・その他(市場等) 生産 販売

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ネギ	生食用	露地	坂東市	17.00 ha (令和5年)	19.00 ha (令和10年)	3,700 kg/10a (令和5年)	4,000 kg/10a (令和10年)	170,000,000 円 (令和5年)	210,000,000 円 (令和10年)	(令和5年)	(令和10年)
レタス	生食用	露地	坂東市	4.50 ha (令和5年)	5.00 ha (令和10年)	2,600 kg/10a (令和5年)	2,800 kg/10a (令和10年)	20,000,000 円 (令和5年)	24,000,000 円 (令和10年)	(令和5年)	(令和10年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-014
策定年月	令和7年5月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
茨城町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	茨城町
構成機関・団体名及び役割分担	茨城町農業政策課 茨城町地域農業再生協議 茨城県県央農林事務所 (企画調整部門、経営・普及部門) ・支援事業の情報提供、実 金等の周知・推進 ・水田活用の直接支払交付 金の周知・推進 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 販売先 岩崎農園 生産・販売 岩崎 宏幸

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
メロン	生食用	施設	茨城町	0.8 ha (令和6年)	1.2 ha (令和11年)	2,240 kg/10a (令和6年)	2,600 kg/10a (令和11年)	29,514,240 円 (令和6年)	51,386,400 円 (令和11年)	(令和6年)	(令和11年)
食用とうもろこし	生食用	露地	茨城町	1.2 ha (令和6年)	3 ha (令和11年)	1,350 kg/10a (令和6年)	1,600 kg/10a (令和11年)	5,904,414 円 (令和6年)	17,494,560 円 (令和11年)	(令和6年)	(令和11年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	08-015
策定年月	令和7年5月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
鹿嶋市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	鹿嶋市
構成機関・団体名及び役割分担	鹿嶋市農林水産課 鹿嶋市地域農業再生協議 茨城県鹿行農林事務所 (企画調整部門、経営・普及部門) ・支援事業の情報提供、実 金 等 の周知・推進 ・水田活用の直接支払交付 金 等 の周知・推進 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 生産・販売 農家 販売先 なめがたしおさい農業協同 組合

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
れんこん	生食用	露地	鹿嶋市	21.3 ha (令和6年)	56.3 ha (令和11年)	2,000 kg/10a (令和6年)	2,200 kg/10a (令和11年)	127,800,000 円 (令和6年)	619,300,000 円 (令和11年)	(令和6年)	(令和11年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。